

コスタリカ経済定期報告(2021年1月)

2021年3月

在コスタリカ日本大使館 経済班

※出典：コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(COMEX)及び貿易振興機構(PROCOMER)(2020年11月～2021年1月分値)。主な出来事については当地新聞記事¹⁾による。

1 主要経済指標

	2020年	2020年		2021年
		11月	12月	1月
累積輸出総額 FOB(100万ドル)	11,625.7	10,586.9	11,625.7	959.5
累積輸入総額 CIF(100万ドル)	14,457.0	13,123.5	14,457.0	1,316.6
貿易収支(100万ドル)	▲2,831.3	▲2,536.6	▲2,831.3	▲357.2
財政収支対 GDP 比(%)	▲8.08	▲7.56	▲8.08	n.a.
消費者物価指数(CPI:2020年12月を100とする)	100.00	99.47	100.00	100.18
為替(通貨はコロン・1米ドルあたり中値・月末値)	613.92	604.49	613.92	612.55
政策金利(%) (年末・月末)	0.75	0.75	0.75	0.75
基本預金金利(%) (年末・月末)	3.50	3.40	3.50	3.55
外貨準備高(100万ドル)(年末・月末)	7,224.7	7,457.6	7,224.7	7,266.0

2 新型コロナウイルス関連

(1) 1月12日、国会は、新型コロナウイルス流行により経済的痛手を受けた民間企業が従業員の労働時間を短縮できるとする法令(2020年3月21日発効)を3カ月延長する法案を可決した。同法は、アルバラード大統領によって署名され、13日に官報に公示され発効した。

(2) 当国移民局による発表では、2020年に海外からの空路での旅行者は約101万人で、前年比で66%減少した。なお、米国、カナダ、メキシコからの旅行者が計約55万人であったのに対し、ドイツ、スペイン、フランス、オランダ、英国の欧州市場からの旅行者は、計約15万人に止まり、特別な対策が必要なことが顕著となっている。

(3) 21日のファイザー社から政府当局への通知によって、同社製コロナ用ワクチンは配送数調整のため、2月中旬まで当国へのワクチン供給が一時停止される見込みであることが判明した。サラス保健大臣によれば、今回のワクチン供給一時停止により、国内のワクチン接種速度は若干落ちるものの、政府が発表した当初の予定通りにワクチン接種は継続される。ファイザー社は、配送数調整の後、3月末までに当国政府との契約通りの回数分のワクチンを供給するとしている。

(4) 21日、観光庁(ICT)が公表した情報によれば、KLM航空は、オランダ政府が20日に発表した新たな新型コロナウイルス感染症予防対策によって、コスタリカ発着便を含む同社の長距離国際便の運航を22日より運休すると発表した。

¹⁾ ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

(5) 25日、アルバラード大統領、ビジェーガス財相、サラス保健大臣がコロナ用ウイルス購入資金として405億コロン(約6,635万米ドル)盛り込んだ2021年第1次補正予算に署名(国会で可決済み)した。同補正予算は、2020年に第3次補正予算として承認されたが予算未執行であった72億コロンと合算の上ワクチン購入資金に充てられる。総額477億コロン(約7,814万米ドル)のワクチン購入資金承認により、既にワクチン接種対象としてグループ分けされた国民のうち約300万人分のワクチンが確保されることになる。さらに、補正予算承認により、ワクチン接種対象となっていない低リスクの国民を対象とした約64万人分の追加ワクチン購入が可能となった。政府は、25日時点で、ファイザー社製ワクチンを約10万回分受け取っている。

3 貿易振興機構(Procomer)の在外事務所再編

当国は、戦略的市場における輸出品の存在感を高めるため、米国、日本、中国、ロシア、北欧各国への輸出を促進する一方で、チリ及び韓国への輸出促進事業を縮小、中米・カリブ地域への輸出促進事業の統合を実施する方針を固めた。右は2021年のポスト新型コロナウイルス流行期における貿易再活性化を視野に入れた貿易振興機構(Procomer)の戦略的分析の結果である。同方針によるProcomer在外通商振興事務所の再編の一環として、2021年からニューヨーク及びマイアミ事務所に加えて、ヒューストン及びカリフォルニア州に同事務所が新設される。他方、チリ及び韓国に設置されている事務所は、駐在職員を異動させ、アウトソーシングによる外部委託事務所とする。日本に置かれている現在の外部委託事務所は、コーヒーや冷凍食材などコスタリカ製品への日本市場からの関心の高まりを背景に、在外通商振興事務所へと格上げされる。また、ロシア及び北欧市場をカバーすべく、同地域における外部委託事務所の新設が予定されている。中米・カリブ地域については、在外通商振興事務所事業が統合され、中国には、既存の上海事務所に加えて、北京事務所が新設される。2020年末時点で同機構は世界に14の通商振興事務所を置いており、10の外部委託事務所を有する。

4 IMFからの借款を巡る動き

(1) 5日、ディナルテ大統領府大臣及びガリード国家計画経済政策大臣は、大統領府に国会各党派の代表であるニーニョ国民解放党(PLN)議員、チャコン同党議員、サンチェス市民行動党(PAC)議員、ビジェーガス国家統合党(PIN)議員、ポリオ議員(無所属)、ブレングス議員(無所属新共和国グループ(PNR)議員を招き、歳入増を目的とした4つの増税案のうちそのいくつかを導入する可能性につき説明を行った。本件に関しては、多くの野党国会議員らは、政府の提示した財政改革案について、容認できないとの見解を示した(キリスト教社会同盟(PUSC)、国家復興党(PRN)など4会派は出席を拒否した)。増税案の概要は以下のとおり。

○対GDP比0.4%の歳入増を目的として、一般品目に課される付加価値税(IVA)を現行の13%から14%へ1%上乘せ(基礎食料品にかかるIVA1%及び医薬品にかかるIVA2%据え置き)。

○対GDP比0.4%の歳入増を目的として、銀行取引へ課税。

○対GDP比0.17%の歳入増を目的として、評価額2億コロン以上の住居に対する時価総額の0.5%にあたる額の課税。

○対GDP比0.12%~0.24%の歳入増を目的として、全所得源の総計に対して課税

するグローバル所得税の導入。

(2) 11日～22日、当国政府とIMF実務者らとの融資（マクロ経済の安定及びコロナウィルスの流行により悪化した経済の再活性化を目指すためのIMFによる財政支援17億5千万米ドル）を巡る交渉が実施され、22日、コスタリカ政府は、IMF実務者代表団との合意に至った。同交渉は、ビジェーガス財相、ガリード国家計画経済政策大臣、クベロ中銀総裁と、マヌエラ・ゴレッティIMF団長が率いるIMFミッションメンバーとの間で行われた。

今回の交渉を通じてIMFによる融資の条件とすべく当国政府が掲げた改革案は、財政の安定性を担保し、通貨・財政の安定性を維持し、総括的かつ持続可能な経済成長を促進するもので、中長期で総債務額の持続的削減を可能とすべく、2023年に向けてプライマリー財政黒字1%、2035年に向けて累積債務対GDP比50%を目指す。これらの目標を達成するための改革案に関し、ゴレッティIMF団長は、「財務目標達成のために当国政府がIMF代表団に提案した財政政策法案は、遅くとも本年6月までに国会可決されなければならない」と述べた。この条件を達成することで、3年間にわたり、年に2度、総額17億5千万米ドルが分割にてコスタリカに融資される。

政府がIMFと合意に至った具体的な政策目標の主要な点は以下のとおり。

○段階的に政府財政（歳入と歳出）を調整し、2025年には対GDP比4.74%分の国家予算を削減する。手始めに、2021年国家予算を対GDP比1.4%削減する。

○2020年執行予算との比較で政府関連機関は67.5%以上財・サービスへの支出を控える。

○（昇給や手当の凍結を含む）公務員雇用法改革、2年間の資本収入への課税率アップ（15%→16.5%）、ギャンブル及び宝くじ特別税創設、関税法改革による税収増、公務員雇用者数制限及び空席補充停止による歳出減、高評価額の不動産への課税、年間総収入額に応じて課税されるグローバル所得税導入、送金にかかる税の5ポイント増等の法案成立。

5 中米・英国連携協定の発効

2019年7月18日に署名された中米・英国連携協定（AACRU）が、2020年12月31日に英国がEUを離脱したことにより、中米・EU連携協定（AACUE：2013年10月1日発効）が失効したことを受け、本年1月1日に発効した。同協定は、政治対話、協力、領域間の自由貿易ゾーン創設の3本柱で構成される。なお、コスタリカから英国への主要輸出品目は、バナナ、パイナップル、エチルアルコール、砂糖、メロンなど。また、2019年における英国からコスタリカへの直接外国投資は880万米ドルに及ぶ。

6 農牧産品輸出への通商障壁を巡るWTOを通じたパナマとの二国間協議の開始の要請

11日、コスタリカ政府は、乳製品を始めとするコスタリカからの農牧産品数品目（乳製品、一語、肉類、パイナップル、バナナ）の輸出に対するパナマによる（通商）障壁に関し、WTOを通じたパナマとの貿易紛争解決の第一段階としてWTO二国間協議メカニズムの適用を正式に要請した。同14日、WTOは、同プロセスの開始について全加盟国に通知した。同二国間協議は60日以内に紛争を妥結することを目指す。

7 中国企業から購入した新型ディーゼル列車の当国搬入

18日、当国鉄道システム近代化のために中国企業 CRRCC Qingdao Sifang Co.から購入したディーゼル列車4編成が、第2便としてカルデラ港に到着した（第1便は2020年12月16日到着）。これを以て、中国より納品予定であった8編成（注：1編成2車両で構成）のディーゼル列車全てが当国に到着したことになる。鉄道公団（INCOFER）が3,270万米ドルの支出を以て発注した同新車両導入プロジェクトは、2018年から開始された鉄道路線の事前調査作業の他、メンテナンス、技術指導、車両整備工場・駅舎・ホームの整備事業を含む。これら新型車両は、本年4月にも運用が開始される予定。

8 財務省による2020年財政赤字確定値他発表

(1) 18日、ビジェーガス財相は、「新型コロナウイルス流行の影響により、2020年7月、当国2020年財政赤字は対GDP比9.2%と予想されていたが、最終的には8.34%に収まった。」と述べた。他方、対GDP比4%に達するであろうと予想されていたプライマリー赤字は3.5%であった。2020年累積債務は、対GDP比69.7%であった。2020年の政府歳入は、前年比約11%に当たる5,869億2,400万コロン（約9億6,400万米ドル）下落しており、この額は、対GDP比で1.68%に相当する。

(2) 21日付財務省プレスリリースは、財務関連諸数値を適正化した結果として、2020年財政赤字を対GDP比8.1%に、同年累積赤字を67.5%に修正した旨発表した。

9 中銀による2021年の経済成長率予測他

29日、クベロ中銀総裁は、「2021~2022年マクロ経済プログラム」を発表する中で、2021年の経済成長率を+2.6%と予測する旨発表した（2020年▲4.5%）。同総裁は、「2021年経済情勢予測値は、2020年7月及び10月の予測からは改善している。ただし、同予測値は、国内外におけるコロナの流行及びワクチン接種の成功に左右される」と述べるとともに、予測値達成は、財政改革案が可決され17億5千万米ドルのIMF融資合意が承認されるかにもかかっている旨強調した。他方、中銀は、2022年の経済成長率は、+3.6%と予測している。その他のマクロ経済関連予測値については、同総裁は、少なくとも2022年まではインフレーターゲットを2%以下とした。また政策金利は2019年5月から引き下げ政策を取り現在は過去最低の0.75%であることをリマインドした。2021年の財政赤字は、累積債務額を反映して金利支払い額が膨らむため対GDP比7%を予測。2022年には5.9%を予測。これらの予測から、累積債務については、2021年は対GDP比72.5%、2023年には76%。ただし、2024年からは累積債務が減少することが予測されており、同年は75.6%。2025年には74.2%と予測される。クベロ中銀総裁は、これらの予測値は、全てIMFとの交渉の結果として約束した財政改革が達成されることが前提であると述べている。

10 中米経済統合銀行（BCIE）による5億米ドルの医療施設関連資金協力

20日、中米経済統合銀行（BCIE）は、金額として史上2番目となる総額5億米ドルの当国への資金貸し付けを決めた。同資金は、社会保険庁（CCSS）の管轄する既存の3つの国立病院（プンタレナス市モンセニョール・サナブリア病院、カルタゴ市マックス・ペラルタ病院、トゥリアルバ市ウィリアム・アレン・テイラー病院）施設建設及び医療設備強化のために利用される。同資金融資は、BCIEの医療施設インフラに関する地域強化プログラムスキームを活用したプロジェクトであり、病院の設計、建設、設備、メンテナンスへの拠

出が可能となる。今次融資は、返済期限25年、支払い猶予5年とされている。

1.1 国道32号線拡幅工事の更なる遅れ

2020年9月、中国港湾工程（CHEC）は、国道32号線の拡幅工事の終了時期（2021年3月まで延期とされていた）が2021年末までずれ込む可能性があるとして発表していたが、今般、同社は、国家道路審議会（CONAVI：公共事業交通省の下部機関）に対して、橋梁設置のための土地収用が終了していないことを理由として、工事終了時期の再度の延期を認めるよう申請した。

1.2 OECD正式加盟手続きにおける憲法法院審議の終了

2020年12月に国会本会議第一回審議にて可決されたOECD正式加盟議定書について、最高裁憲法法院による法的妥当性に関する大筋での審査が1月27日に終了した。今後、国会の第二回審議（最終）が待たれる。

（了）